

シラバス

2018 年度

研究科

本物にふれる 本当の力をつける



学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科 / ビジュアルデザイン科 / 研究科

履修ガイド

1、単位の認定

- (1) 実技=課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
学科=試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
- (2) 単位計算の基準=各授業科目(実技、学科共)に対する単位は週90分半期17週相当(25.5時間)の授業をもって1単位とする。

2、進級の要件

本校の学生が進級するには、1年間の修得単位が31～33単位以上なければならない。

3、卒業の要件

本校の学生が卒業するには3年以上在学し、かつ所定の96単位以上修得しなければならない。

4、履修に関する注意

- (1) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (2) 授業途中からの受講は原則として認めない。
- (3) 受講した科目は、原則として変更することはできない。
- (4) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

5、採点について

- (1) 科目の採点は、原則として授業終了時に行なわれる。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行なうことがある。
- (3) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出による採点とする。
- (4) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出して採点を受けなければならない。
- (5) 受講した科目の出席日数が、3分の2以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。
- (6) 授業料等未納者は原則として科目を受講する資格がない。

6、追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

7、採点基準

- (1) 課題(レポート含む)の採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	合格
94～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59～0	D	不可
保留	-	仮処置

※ 学科において課題(レポート含む)採点の結果、点数が59点以下の場合、不可となり原則として次年度以降において再履修となる。

※ 授業を担当する講師による採点が保留となった場合、追課題(レポート含む)は成績会議により専任の判断に委ねられる。

8、学科再履修

採点の結果、不可となった者は次年度以降において原則としてその学科目を再履修しなければならない。ただし、在籍学年の履修を優先とするため、履修科目の変更、または再履修年度の変更についての決定は学校の指示に従うこととする。

9、採点保留(仮処置)による扱い

- (1) 前期授業と後期授業において学科・実技の履修状況の確認を学期末に学生・保護者に郵送する。未提出課題のある学生はすみやかに学校の指示に従い、課題(レポート含む)の提出を行わなければならない。
- (2) 卒業・修了年次においては上記に加えて11月に卒業資格判定を行い、判定結果の掲示を行う。その際に出席、学科、実技などを考慮した結果、卒業・修了資格なしと判定のあった者は卒業・修了制作を着手する事ができず、卒業および修了不可となる。また2月において卒業・修了判定を行い、単位の修得状況によっては卒業・修了制作の提出があっても卒業・修了不可となり、留年もしくは卒業・修了延期となる場合がある。

10、特別支援授業について

特別支援授業とは、留年となる前に単位取得を支援するために行われる授業。

進級判定会議において未習得単位が極めて多い学生に対し、本人の面談を行った後、保護者への通達、その承諾をもって受講することができる。

対象者：取得単位数の少ない学生が対象。

授業日程：原則として、長期休暇時に実施。

単位修得：提出作品、試験等によって採点。

受講料：15,000円

11、参考作品について

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行なう。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物やWeb、広報および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

【研究科・研修生】

目的

大学や専門学校を卒業後、1年間でより深く専門分野の知識や技術を取得し、以下の事を目的とします。

「自立した創作、研究活動の確立」

「プロに必要なビジネススキルを習得」

特徴

1. 自在に授業選択が可能な受講プログラム
2. 実践的な授業カリキュラム
3. グローバル社会を意識した世界水準の教育
4. プロのクリエイターによる直接指導
5. 充実した環境と設備

コース別の特徴

〈アート研究コース〉

- 1つのテーマを掘り下げて研究することが可能
- 校外展、大学版画展などの学外展示の参加
- 研修派遣員の応募が可能(パリ国際芸術都市研修生・メキシコ派遣研修員)

〈デザインビジネスコース〉

- デザイン制作会社への就職に必要な知識とスキルを身につけることが可能
- インターンシップへの参加
- 「Webコミュニケーション」「UIデザイン」「ポートフォリオ」「著作権」などの講座

〈美術進学コース〉

- 「大学院進学」「小論文」「ポートフォリオ」「日本語」などの講座
- 個人面談を通じて、希望校に合わせた受験対策をアドバイス

研究科

■アート研究コース・デザインビジネスコース・美術進学コース

	授業科目	履修形式	単位数
学 科	英会話	選択	2
	フランス語 I	選択	2
実 技	セミナー	必修	4
	テーマ制作	必修	9
	プロフェッショナルスタディー	必修	3
	修了制作	必修	16
	合計		32

授業名：「セミナー」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、岡山拓史、鈴木吐志哉、非常勤講師

学習目標／授業内容：担当講師による指導のもと、それぞれの研究テーマ、就職対策、美術進学対策及びポートフォリオ制作などを行なう。

各自の進捗状況に応じて適切なカリキュラムの履修指導など、ディスカッションを行なう。

授業名：「テーマ制作」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、岡山拓史、鈴木吐志哉、非常勤講師

学習目標／授業内容：

〈アート研究コース〉 創形美術学校“作品”展(校外展)への作品制作及び出品。

〈デザインビジネスコース〉 オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれの専攻分野による前期授業の履修及び習得。

〈美術進学コース〉 オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれの専攻分野による前期授業の履修及び習得。

授業名：「プロフェッショナルスタディ」

担当講師：専任講師、ゲスト講師

学習目標／授業内容：

- 特別講座(7月～12月)
- 就職セミナー(6月～7月)
- 日本語(4月～1月)
- 知的財産講座(9月)
- 大学院進学講座(4月～10月)
- ポートフォリオ講座(6月～10月)
- 小論文講座(4月～2月 ※コースにより授業日数が異なります。)

※アート研究コースは特別講座は必ず履修。

※デザインビジネスコースは特別講座と就職セミナー、知的財産講座、ポートフォリオ講座は必ず履修。

※美術進学コースは特別講座と大学院進学講座、ポートフォリオ講座、小論文講座は必ず履修。

※留学生は日本語を必ず履修。

授業名：「修了制作」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、岡山拓史、鈴木吐志哉、大沼正昭、飯田 淳

学習目標／授業内容：

〈アート研究コース〉 後期より修了作品の制作及び SEBIT(東京都美術館※選抜)、校内展への作品出品。ポートフォリオの完成。

〈デザインビジネスコース〉 オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれの専攻分野による後期授業の履修及び習得。
ポートフォリオ(就職試験用)の完成。
最終的に日本での業界就職を目指す。

〈美術進学コース〉 オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれの専攻分野による後期授業の履修及び習得。
ポートフォリオ(入学試験用)の完成。
最終的に美術大学大学院への入学を目指す。

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <http://www.sokei.ac.jp/>

E-mail: sokei@sokei.ac.jp